

# 総合教養

## 問題冊子

### 指示

#### 合図があるまで絶対に問題冊子を開かないこと

この試験では、最初に短い音声講義を 15 分程度聞きます。その後に試験開始の合図があったら問題冊子を開けて問題に解答してください。試験時間は音声講義部分を含めて 80 分です。

1. 講義を聴きながらメモを取っても構いませんが、メモを取る場合は配布されたメモ用紙のみ使用できます。机の上や手に書いた場合は不正行為となります。
2. この試験は、PART1、PART2、PART3、PART4 の 4 つのパートに分かれています。PART1 では、音声講義に関連した問題、PART2、PART3、PART4 では、それぞれ人文科学、社会科学、自然科学の観点から書かれた資料を読み、それらに関する設問に解答します。
3. この試験は 80 点満点で、設問は 40 題あります。答えとして 4 つの選択肢が与えられその中からもっとも適切と思われる答えをマークシートに記入してください。
4. マークシート上の答えを修正する際は、跡が残らないように消しゴムできれいに消してから、改めて正しい答えをマークしてください。消し残しがあると、採点が正しくできません。
5. 「解答やめ」の合図があったら、ただちに解答をやめてください。指示後にも解答を続けた場合不正行為となります。
6. 試験監督が問題冊子、解答マークシート、メモ用紙を集め終わるまでは退室はできません。指示があるまで席に座っててください。
7. この指示について質問がある場合は、教室内の試験監督に聞いてください。ただし問題の内容に関する質問には一切お答えできません。

「受験番号」をマークシートの定められたところに必ず書き入れること

メモ用紙